



日本慢性期医療協会  
JAPAN ASSOCIATION OF  
MEDICAL AND CARE FACILITIES

令和2年8月21日

## PRESS RELEASE

一般社団法人日本慢性期医療協会

〒162-0067 東京都新宿区富久町 11-5

シャトレ市ヶ谷 2階

TEL. 03-3355-3120 info@jamcf.jp

### 2020年6月末時点の介護医療院の開設状況について

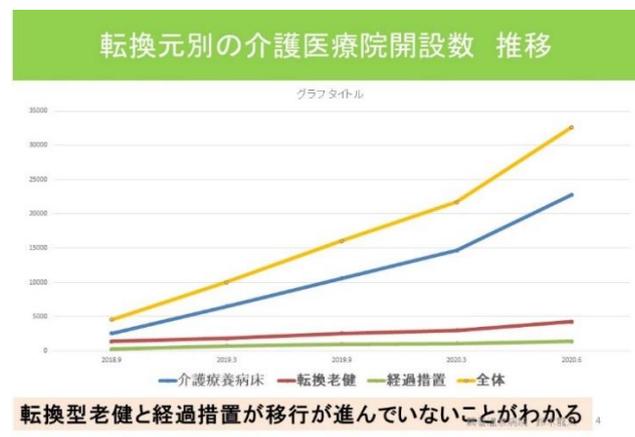
日本慢性期医療協会 常任理事  
日本介護医療院協会 会長 鈴木龍太

厚生労働省より2020年6月30日現在の介護医療院の開設状況が発表されました。

全国で515施設32634床が開設されました。開設状況を経時的に表したものがグラフ1です。グラフ1で2020年3月末と比較しますと、増加が加速したことが分かります。



グラフ1



グラフ2

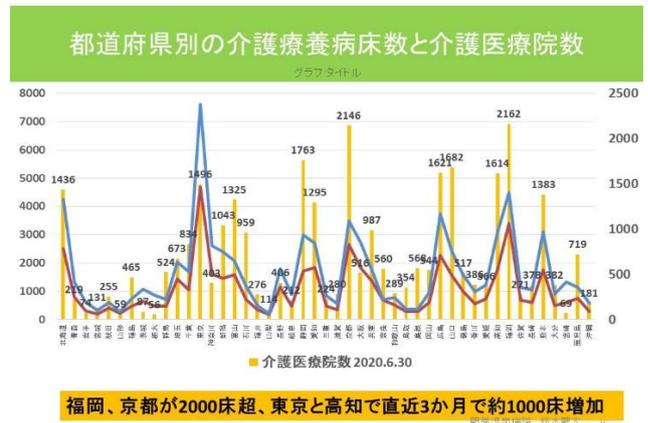
6月末での介護医療院の元の施設の内訳をみますと、介護系からの移行が進んでいて、全体の84%を占めています。介護医療院に優先的に移行できる施設は療養病床(そのうち介護療養病床2018年時点で約5万床)、介護療養病床から転換した介護療養型老健約9000床、2017年度まで25対1の療養病床だった経過措置病床(2018年時点で約6万床)、が主な移行対象です。介護療養病床から22748床、介護療養型老健から4256床と対象の45%近くが移行したことになります。特に介護療養型老健は3月末からかなり増加しました。一方経過措置からは1399床で、今後も増加の見込みはなく、経過措置からは介護医療院が選択肢として選ばれなかったことを示しています(グラフ2)。

医療療養 1, 2 からは 3483 床とコンスタントに少しずつ増加しています。医療療養から介護医療院に移行しますと、報酬が減額になりますので、経営数字以外の移行の理由を知りたいところです。

都道府県別にみますと、様々ですが、もともと介護療養病床が多い地区で介護医療院への移行も多く進んでいる傾向があります(グラフ 3, 4)。全国で最も介護療養病床が多い東京都(約 4000 床)では 3 月末時点では 510 床と移行が進んでおらず、手続きに時間がかかっていることが一つと要因としてあげていましたが、6 月末で 1496 床と急激に増加しました。高知県でも直近 3 か月で 1000 床近く増加しています。



グラフ 3



グラフ 4

都道府県で対応がまちまちで、申請から開設までに時間がかかっている例もあったようですが、ようやくスムーズな開設ができるようになったのではないかと想像しています。また東京都では新設が 1 施設 24 床増えています(表 1)ので、介護施設が不足している自治体では新設も認可されているようですので、積極的に申請をしてみてもは如何でしょうか？

**介護医療院 2020年6月30日概数**

**2020年6月30日まで515施設32634床**  
**I 型346施設(23985床) II 型164施設(8649床)**

介護療養病床から336施設 介護療養型老健から86施設4256床  
 医療療養から 97施設 経過措置から 33施設1399床のみ  
 新設4施設(28床 東京都で1施設24床新規開設した)  
 都市部では総量規制の枠内でも新設許可の可能性ある

少ない:0件はなくなった。山梨1件、岩手・栃木・群馬・宮崎2件、  
 多い: 福岡32件2162床、京都15件2146床、静岡19件1763床、  
 広島21件1621床、山口23件1682床、  
 高知(27件1614床)・東京(16件1496床)は直近3か月で約1000床増

表 1

以上